

74

86

科學 6 (1936), 第 10 號, 別刷

Germo germo (Lacepede)
 in the Waters East of Nozima
 Promontory, Tama Pref.
 (1st Rep.)

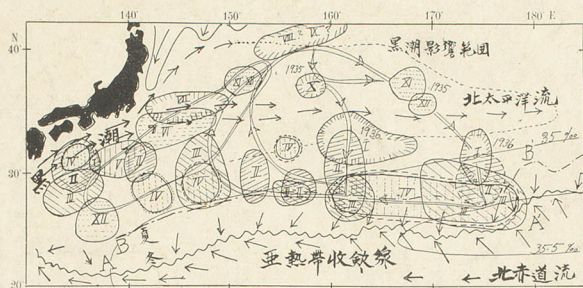
indir. angled long line landed at harbor

fishing grounds.

冬の“びんながまぐろ”漁場と亞熱帯收斂線

“まぐろ”漁船の漁獲報告から“びんながまぐろ”の昭和 10 年秋から同 11 年夏迄の一箇年間の主要漁場を圖示したのが第 1 圖である。冬季 1~4 月の所謂千漕沖合“びんながまぐろ”(延縄)漁

場が $33^{\circ}\sim 26^{\circ}\text{N}$ に停滞して居るが、面白い事に亞熱帯收斂線(1)に丁度沿ひ並んで居る事が分つた。收斂は下降流域を示し高鹹水(鹽分 $>35\%$)の沈降の在る事を示して居る。又 35.5% の線に當る $170^{\circ}\sim 180^{\circ}\text{E}$ の Midway 島西方海區は南北より海流の衝合(收斂)の最も著しい海區で最も著しい冬まぐろ沖合漁場をなして居る。停滞と云つても1月から2月、3月と幾分中心が南へ移り、



第1圖 “びんながまぐろ” 漁場と海況
AA': 亞熱帯收斂線 (2,3月...Schottによる). BB': 同上(夏...Wüstによる). 圖中ローマ數字は月名, →流向, ⇄想像魚群移動徑路.

3月等温線の最南位に達した時漁場も最南にあり、それから4月、5月と漁場は西方に移つて現はれ時計廻りに黒潮支流と共に回轉して夏は東北海區に現はれる。昭和6~10年を調べても同様であるが詳しいことは何れ別に發表の豫定である。洄游徑路は第1圖の様にも考へ得られるか確かな事は將來に俟たねばならぬ。漁場表面水温は1~4月 $17^{\circ}\sim 20^{\circ}\text{C}$ で $18^{\circ}, 19^{\circ}\text{C}$ に於て最も多く獲れて居る。

11年8月31日 水産試験場

宇田道隆

(1) G. Wüst: Kuroshio u. Golfstrom. Veröff. d. Inst. f. Meeresk. Hf. 29, 1936 及び宇田: 昭和8年盛夏に於ける北太平洋の海況, 水産試験場報告(1935)の附圖; G. Schott: Geographie des Indischen u. Stillen Ozean (1935), Taf. XXIX 参照.